

## ◆学力・学習状況調査から

### 《 6年生 国語科 》

#### 全体の概要

- ・教科としての正答率は県平均を大きく下回っています。
- ・知識・技能、思考・判断・表現の各分野別に見ても県平均を大きく下回っています。

| 観点       | 分析結果・自校の課題   | 改善に向けた具体的取り組み  |
|----------|--|--|
| 知識・技能    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年別漢字配当表に示されている漢字の書き取りを行う問題において、無解答率が高く、課題が見られます。</li> <li>・助詞の使い方や主語と述語の関係を問う問題において課題が見られます。</li> <li>・修飾・被修飾の関係を問う問題においては、県平均と同程度の正答率となっています。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の漢字の書き取り宿題を、ただ写すだけではなく、覚えるための学習にできるよう、こまめな5問テスト等を行いながら確実に身につけさせます。</li> <li>・日頃の日記や文章などで5W1Hや主語述語を意識させて書かせるようにします。</li> </ul>                        |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取ったことをもとに書く問題において、解答内容は題意を捉えていても、複数の与えられた条件を満たしていないために誤答と判断される傾向があります。</li> <li>・記述式で答える問題において無解答率が高いのが課題です。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段のテストにおいても、無回答では提出させないようにし、粘り強く考える姿勢を身につけさせます。</li> <li>・自分の考えを書かせる際のワークシートに、原稿用紙のような「マス目」を取り入れ、文字数や使う言葉や理由を与えることで、条件を意識して書く力を伸ばす取り組みをします。</li> </ul> |

## ◆学力・学習状況調査から

### 《 6年生 算数科 》

#### 全体の概要

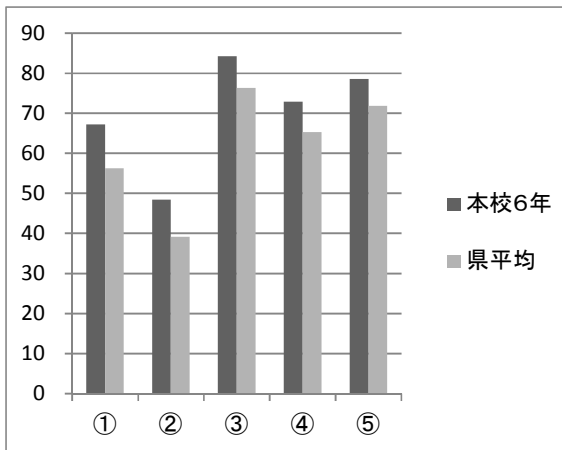
- ・教科としての正答率は県平均を大きく下回っています。
- ・知識・技能の分野は、県平均をやや下回っています。
- ・思考・判断・表現の各分野別に見ても県平均を大きく下回っています。

| 観点       | 分析結果・自校の課題   | 改善に向けた具体的取り組み  |
|----------|--|--|
| 知識・技能    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○図形の並べ方を変えても面積は変わらないことを問う問題については県平均と同程度の正答率です。</li> <li>○棒グラフの読み取りに関する問題については、県平均と同程度かつ高い正答率となっています。</li> <li>・面積を求める公式を正しく覚えられていないことが課題です。</li> <li>・三角形や平行四辺形の面積を求める公式を使うための底辺や高さを正しく理解できていないことが課題です。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一台端末のドリルを活用し、個人で繰り返し練習に取り組みます。6年生での学習だけでなく、前学年の学習にも立ち戻って、苦手分野の解消を目指します。</li> <li>・単に公式を覚えさせるのではなく、公式の意味や公式を生み出す過程を理解できるようにします。</li> </ul>  |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○速さと道のりの関係を求める問題については県平均をやや上回っています。</li> <li>・三角形を組み合わせてできた平行四辺形の面積を「平行四辺形の公式」にあてはめて求める問題において、斜辺と高さを混同してしまう傾向が多く見られました。</li> <li>・文章問題において数字の出た順に式にしてしまい、場面から数量の関係を捉えて立式できていない傾向が見られました。</li> <li>・小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数にあたる理由を記述する問題に課題が見られました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文からキーワードを探したり、絵や図でわかりやすく表現したりすることで、情報をわかりやすく整理する力が身につくように授業で取り扱います。</li> <li>・自分の考えを、式だけでなく、言葉や図で表現する活動を授業に取り入れます。ペア学習やグループ学習での学び合い活動の工夫を図り、自分の考えを説明したり伝えたりする力の伸長を図ります。</li> </ul> |

## 《6年意識調査》

### 【数値が特に高かった項目】

|   | 調査の項目  |
|---|--|
| ① | 国語の勉強は好きですか  |
| ② | これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど) |
| ③ | 解答時間は十分でしたか(算数)  |
| ④ | 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか  |
| ⑤ | 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか                              |



#### 【分析と取組】

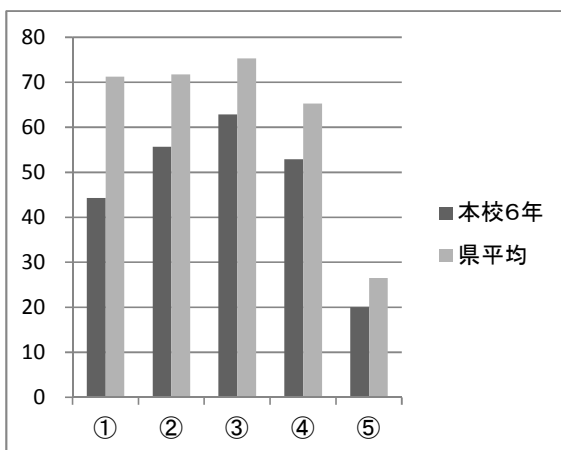
・職員の校内研究で、学び合い活動を取り入れた国語科の授業改善に取り組んできた結果、国語科に関する調査で、児童の好意的な回答を得ることができています。

・外国語科については、英語塾に通っている児童も多く見られます。また、外国語専科の職員とALTの連携した授業により、外国籍の人にも積極的に英語で話しかけることができています。

・新型コロナウイルスによる休校期間中も、学校から課題を渡したり、家庭の協力を得られたりしたことで、生活のリズムを大きく崩す児童はほとんどいませんでした。

### 【数値が特に低かった項目】

|   | 調査の項目  |
|---|--|
| ① | 英語の勉強は好きですか  |
| ② | 解答時間は十分でしたか。(国語)   |
| ③ | 5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。             |
| ④ | 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。          |
| ⑤ | あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか |



#### 【分析と取組】

・英語の学習について、肯定的に答える児童が低い傾向が見られました。外国語活動から外国語科に教科化され、学習内容が増加したことによる負担感が要因と考えられます。児童が楽しく積極的に学習に参加できるような指導方法の改善を図っていきます。

・社会科や道徳など様々な教科を通して、多文化共生教育を行い、国際理解を高めていきます。

・今年度、一人一台端末が配置されたことにより、より授業に積極的に活用できるような職員研修を充実させ、積極的に授業実践を蓄積していきます。

・自己有用感や自己肯定感を育むために、一人ひとりの子どもたちに出番、役割、さらに承認される授業・教育活動に取り組み、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことを進んで取り組ませます。

・エンカウンター等を取り入れることにより、主体的・対話的な深い学びへと広げていくことを確保し、学力の向上をめざします。